

## 消防隊や道路管理者などとの非常時合同訓練を実施します

～「安全・安心」の基盤をさらに強固に、異常事態を想定した訓練を実施～

大阪モノレールでは、「中期経営計画 2017-2021」の一つ目の柱と掲げる『安全・安心への弛まぬ取組み』として、沿線消防署や大阪府土木事務所などと合同で、非常時合同訓練を3月9日(金)深夜に実施します。

非常時合同訓練は、2008年から毎年1回実施しており、今年の訓練では2部制として、第1部では、守口市門真市消防組合他と共に、駅舎火災発生を想定したお客さまの避難誘導や救護活動手順などの訓練を実施します。また、第2部では、今年度から車両への搭載を開始した非常用脱出シューターを用いた、車両からの降下救出訓練などを実施します。

大阪モノレールでは、万一の時にも迅速適切にお客さまの避難誘導ができるよう、想定しうる様々な異常事態に備えた各種訓練などを継続的に実施しています。大阪モノレールは「お客さまの安心・安全」を第一に、これからも安全運行に努めてまいります。

1. 実施日時: 2018年3月10日(土) 【第1部】0時25分頃～ 【第2部】1時15分頃～

2. 訓練場所: 【第1部】大阪モノレール門真市駅(門真市新橋町)  
【第2部】大阪モノレール大日駅～門真市駅間(門真市泉町7市上下水道局付近)

3. 参加者: 守口市門真市消防組合、門真警察署、大阪府枚方土木事務所、門真市、  
大阪高速鉄道株式会社、大阪モノレールサービス株式会社 約80名(予定)

4. 内容: 【第1部】駅舎火災時の通報、初期消火およびお客さまの避難誘導、救護活動訓練  
消防隊による消火活動およびお客さまの救出活動訓練

【第2部】駅間高架上での列車停止を想定したお客さまの降下救出訓練  
緊急救援作業車を用いた駅間停止列車への係員送り込み訓練  
道路上での高所作業車を用いた施設、車両の緊急点検訓練

5. 取材等: 訓練の取材は、原則的に報道機関に限ります  
取材を希望される方は、3月8日(木)17時までにご連絡をお願いします  
※事前にご連絡がない場合は、駅舎内への立ち入りができない場合があります  
※門真市駅には駐車場はありません

訓練第2部は、府道中央環状線の歩道からどなたでも見学していただけます  
ただし、警察による道路規制なども行いますので、係員の指示があるときは従ってください

気象状況や、消防に緊急出動が発生した際など、訓練を中止または延期する場合があります

【夜間訓練に関する取材等 お問い合わせ】  
安全推進室 松原・鈴木・西郷  
TEL. 06-6875-5788 FAX. 06-6875-3504

## ▼非常用脱出シューターについて

建築(ビル)用避難器具として消防法認定品をモノレール搭載用に改良したもので、車両客室の窓から地上へシューター部分を投下し、筒状のシューター内部をお客さまが“らせん状”に滑り降ります。  
1 編成 4 両のうち、両先頭車に計 2 台を搭載しています。

シューター内部へは足から入り、らせん状に絞られた筒の内部を滑り降りることで降下速度が緩やかになり、安全に地上への脱出ができる装置で、2017 年から、順次搭載を進めています。

なお、非常用脱出シューター以外にも、モノレールが駅間で走行不能となった場合には、次のような救出方法があります

### 1) 別の救援列車を連結して、近くの駅まで車両を移動

▼救援列車を連結し、その動力で近くの駅まで走行します

### 2) 別の列車へ、お客さまに乗り移っていただく

▼前後に別の車両を連結し、お客さまに乗り移っていただく『前後救出』



▼隣の軌道へ横付けし、扉部分にタラップを渡し、お客さまに乗り移っていただく『側方救出』

### 3) 車両から直接地上へ脱出する

▼長時間停電など、他の救援列車も走行できない場合には、直接地上へ脱出していただきます

A: 消防隊のはしご車により救出します

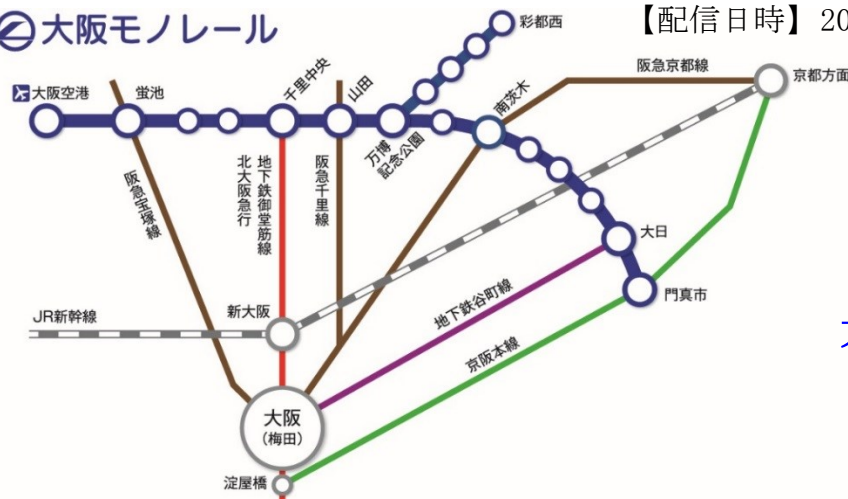
B: 車両に搭載した緩降機にて救出します



【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、大阪府政記者クラブ

【配信日時】 2018 年(平成 30 年) 3 月 6 日 14 時

## 大阪モノレール



大阪高速鉄道株式会社